

② 第2期 鹿児島市病院事業経営計画の推進

第2期経営計画を着実に推進するため、令和4年度から、基本方針に基づき、①働き方改革、②DX（デジタル・トランスフォーメーション）、③再整備、④DPC特定病院群への再指定、⑤ISO取得を大きな柱とした取り組みを進めていきます。

1. 基本方針と主な取り組み

基本方針	主な取り組み	働き方改革	DX	再整備	DPC	ISO
1	高度で専門的な医療の提供	○	○	○	○	○
2	安全で信頼される医療の提供	○	○	○		○
3	地域医療機関との連携、地域医療の充実		○		○	○
4	職員の教育、研修、医療水準の向上	○		○		○
5	やりがいと充実感の持てる職場づくり	○	○			
6	健全経営に努め、進化する病院	○	○	○	○	○

2. 主な取り組みの流れ（R4～5）

PT名	リーダー	目的	年度 月	令和4				令和5				令和6～
				4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	
働き方改革	時村副院長	良質かつ適切な医療を提供するために、タスクシフトや効率化により労働時間の縮減を図るとともに、ハード・ソフト両面から、働きやすい環境の充実を図る。			・ 医師の労働時間の実態把握 ・ 課題の抽出		・ タスクシフトの検討 ・ 時短計画（案）の作成		・ 試行実施（タスクシフト等）		・ 時短計画の提出	R6.4月 本格実施
DX	堀副院長	ICTを用いて、患者の満足度や医療の質の向上を図るとともに、医療従事者の働き方改革に取り組むため、DXを推進し、スマートホスピタル化の実現を目指す。		・ 課題の抽出 ・ 先進事例調査	← 具体的方策の検討 →			・ 実証実験（RPA）⇒効果検証 ・ （ハード整備が必要なもの） ⇒再整備基本設計に反映	・ RPA導入準備		・ RPA試験運用 ⇒ 本格稼働 ・ DX年度別導入計画の作成	
再整備	濱崎副院長	今後の医療需要を踏まえ、さらなる機能の充実と、新興感染症等の流行に備えるとともに、患者が安心して医療を受けることができ、職員においても働きやすく安全な職場環境を整備する。		・ 整備内容・機能・ゾーニングの検討 ・ 設計者の選定	← 基本設計 (R4.10月～R5.5月) →			← 実施設計 (R5.6月～R6.3月) →				R6～7 →建設 R7末 →増築棟 供用開始
DPC	前村院長補佐	DPC特定病院への再指定に向け、診療密度向上のための改善策を検討するほか、機能評価係数Ⅱの向上に向けた取組を行う。		・ 診療密度の向上策の検討 ⇒効果検証⇒導入	← 評価期間 (R4.10月～R5.9月) →				・ 各種係数のモニタリング			
ISO	堀副院長	検体採取から検査結果の報告まで、全てにわたる業務及び品質マネジメントシステムを国際的な基準とするため、ISO15189取得を目指す。		・ 検査部内の業務分析 ・ 清潔区域内の施設整備	・ 検査機器の更新 ・ 手順書の作成、研修			申請	⇒ ISO取得			